

新潟市医師会

第144回 在宅医療講座

9月13日 2024年
月 日 (金)

午後7時15分から ※開場6時45分
(閉会：午後8時30分)

講演



『スワンプラザ』からみた 急性期病院の現状と課題 ～病院を社会資源の1つと捉えて～

新潟市民病院
患者総合支援センター 地域医療室長

伊部 奈穂子 氏

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：一般社団法人新潟市医師会 (担当：江部 理事)

定員：先着300名 ご参加いただく場合は、メールでお申込みください。
裏面の「申込方法」をご覧ください

入場
無料

私の所属する地域医療室は、新潟市民病院の患者総合支援センター『スワンプラザ』に配置されています。「患者・家族に寄り添う地域医療」という当センターの理念のもと、地域医療室は病診連携・医療福祉相談・退院支援・入院支援の4つの機能で構成され、日常の業務において様々な関係機関と連携を図りながら、地域の専門職の皆様のご協力の下に成り立っているところが大きい部署です。

ご参加の皆様には日頃の感謝の念をお伝えしつつ、医療福祉相談員の視点から日常の業務において把握している現状と病院の枠を越えて社会問題に絡んだ課題についてお話しさせていただきます。その上で2025年を見据えた地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に向けた機能分化が進む中で、急性期病院が地域に求められる機能を維持しながら地域の社会資源の1つとして存続していくための手立てについて、皆様と共有できたらと考えています。

この講座は在宅医療は未経験という先生がたにもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位 カリキュラム内容：12.「地域医療」